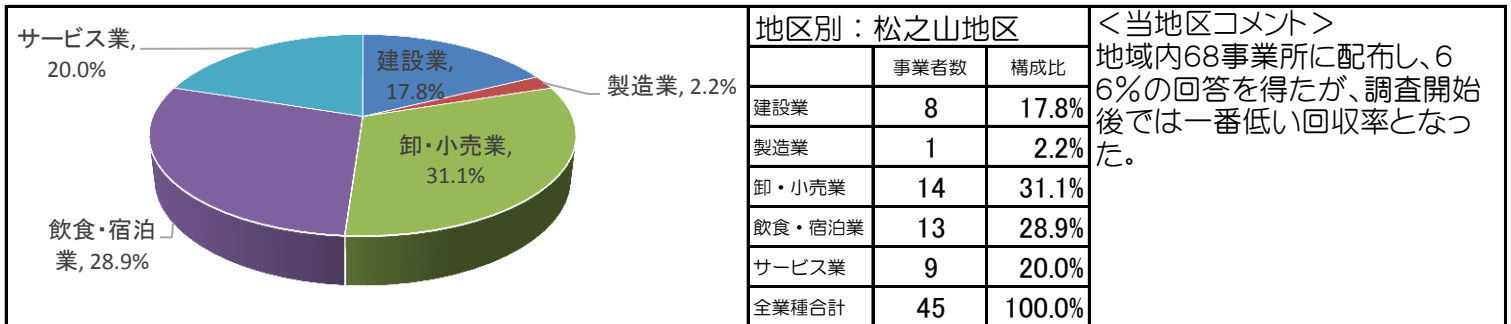
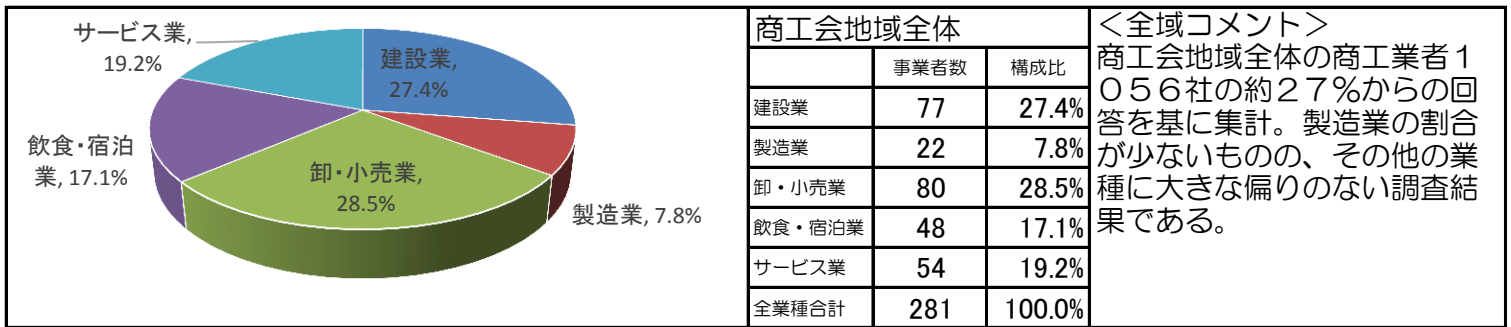


十日町市商工会地域 企業景況調査 第4四半期報告書 (H29.1.1~H29.3.31) 松之山地区

小規模事業者以外含む全事業所

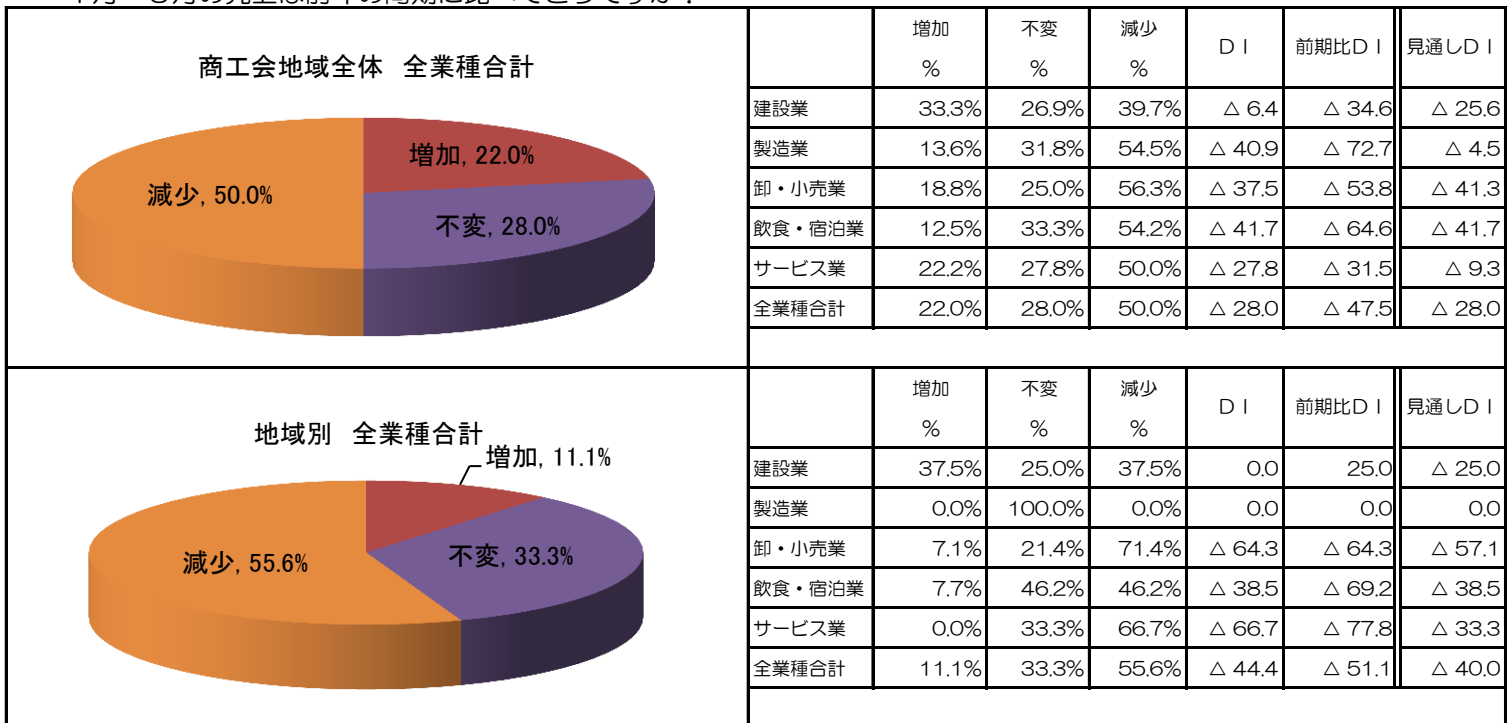
◇ 調査対象事業所構成割合



DI値(景況判断指数) = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

1. 売上について

・1月~3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？



＜全域コメント＞ 売上は、前年同期と比べると全業種で△28ポイント減少。製造業と飲食・宿泊業の減少が目立つ。前期比では、全業種で△47.5ポイント減少。製造業と飲食・宿泊業の減少幅が大きい。今後の見通しでは、全業種△28ポイント減少予想であるが、前回調査見通しと比較すると29ポイント改善している。

＜当地区コメント＞ 当地域の売上は、全業種を市内全体と比較すると△16.4ポイント減少している。卸・小売業、サービス業でのマイナスポイントが大きく目立っている。前期比でのマイナスは、冬期間の観光客減少が要因でもある。今後の見通しDIにおいても、市内全域よりも大きくマイナス予想されているが、前回調査時点での見通しよりも33.1ポイント改善している。

2. 採算について

・1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	26.9%	35.9%	37.2%	△ 10.3	△ 26.9	△ 28.2
		製造業	13.6%	31.8%	54.5%	△ 40.9	△ 72.7	△ 9.1
		卸・小売業	12.7%	34.2%	53.2%	△ 40.5	△ 57.0	△ 45.6
		飲食・宿泊業	10.4%	39.6%	50.0%	△ 39.6	△ 56.3	△ 35.4
		サービス業	17.0%	50.9%	32.1%	△ 15.1	△ 22.6	△ 11.3
		全業種合計	17.1%	38.6%	44.3%	△ 27.1	△ 43.2	△ 29.6
地域別 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	37.5%	25.0%	37.5%	0.0	25.0	△ 37.5
		製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
		卸・小売業	7.7%	30.8%	61.5%	△ 53.8	△ 76.9	△ 61.5
		飲食・宿泊業	7.7%	53.8%	38.5%	△ 30.8	△ 46.2	△ 23.1
		サービス業	0.0%	37.5%	62.5%	△ 62.5	△ 62.5	△ 25.0
		全業種合計	11.6%	39.5%	48.8%	△ 37.2	△ 44.2	△ 37.2

<全域コメント> 採算は、前年同期と比べて全業種△27.1ポイント減少。1ポイント減少。製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業が約40ポイント減少している。前期比では、全業種△43.2ポイント減少。特に製造業の減少が目立つ。今後の見通しでも、全業種△29.6ポイント減少予想であるが、前回調査見通しとの比較では24.7ポイント改善している。

<当地区コメント> 当地域の採算は、前年同期比の全業種で△37.2ポイントで市内全体よりも10ポイント悪化が多くなっている。特に卸・小売業とサービス業がマイナスポイントが高くなっている。今後の見通しでは、△37.2ポイントとなっているが、雪解け後の観光客増もあることから前回調査よりも34ポイント改善がみられる。

3. 仕入単価について

・1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

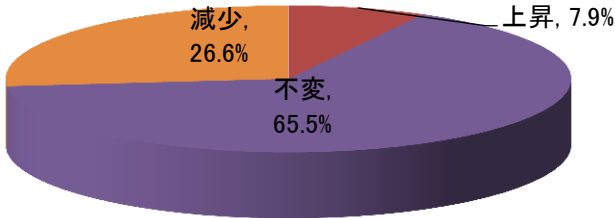

商工会地域全体 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	23.1%	67.9%	9.0%	14.1	10.3	24.4
		製造業	31.8%	68.2%	0.0%	31.8	27.3	13.6
		卸・小売業	27.8%	60.8%	11.4%	16.5	11.4	15.2
		飲食・宿泊業	47.9%	45.8%	6.3%	41.7	35.4	33.3
		サービス業	13.5%	82.7%	3.8%	9.6	3.8	11.5
		全業種合計	27.6%	64.9%	7.5%	20.1	15.1	20.1
地域別 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	37.5%	62.5%	0.0%	37.5	12.5	12.5
		製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
		卸・小売業	61.5%	38.5%	0.0%	61.5	61.5	53.8
		飲食・宿泊業	30.8%	53.8%	15.4%	15.4	23.1	15.4
		サービス業	0.0%	85.7%	14.3%	△ 14.3	△ 14.3	0.0
		全業種合計	35.7%	57.1%	7.1%	28.6	26.2	23.8

<全域コメント> 仕入単価は、前年同期と比べて全業種20.1ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業と製造業の上昇が目立つ。前期比でも全業種15.1ポイント上昇。今後の見通しでも全業種20.1ポイント上昇予想である。又、前回調査見通しとの比較では9.6ポイント上昇である。特に、飲食・宿泊業は上昇傾向であり、売上原価を押し上げている。

<当地区コメント> 当地域の仕入単価は、全業種の前年同期比28.6ポイントと上昇傾向にあり、特に卸・小売業の仕入単価上昇が目立っている。全業種のポイントも前回調査時よりも5.5ポイント上昇しており、今後の見通しと併せてみると更なる上昇を予測している事業者が多いことがうかがえる。

4. 販売（客）単価について

・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

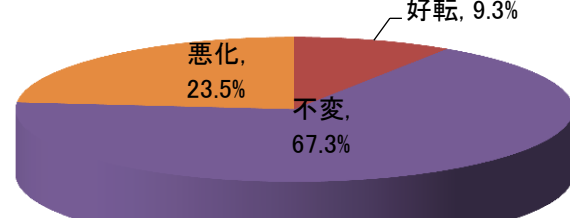
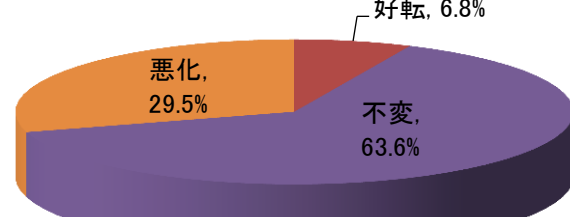
商工会地域全体 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
							
地域別 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
							
建設業		7.7%	71.8%	20.5%	△ 12.8	△ 14.1	△ 7.7
製造業		4.8%	76.2%	19.0%	△ 14.3	△ 14.3	0.0
卸・小売業		11.4%	54.4%	34.2%	△ 22.8	△ 31.6	△ 30.4
飲食・宿泊業		6.3%	56.3%	37.5%	△ 31.3	△ 41.7	△ 33.3
サービス業		5.8%	76.9%	17.3%	△ 11.5	△ 11.5	0.0
全業種合計		7.9%	65.5%	26.6%	△ 18.7	△ 23.4	△ 16.5
建設業		0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
製造業		0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
卸・小売業		15.4%	23.1%	61.5%	△ 46.2	△ 46.2	△ 38.5
飲食・宿泊業		15.4%	53.8%	30.8%	△ 15.4	△ 46.2	△ 23.1
サービス業		0.0%	42.9%	57.1%	△ 57.1	△ 57.1	△ 14.3
全業種合計		9.8%	46.3%	43.9%	△ 34.1	△ 43.9	△ 26.8

<全域コメント> 販売単価は、前年同期と比べて全業種△18.7ポイント低下。前期比でも△23.4ポイント低下。今後の見通しでも△16.5ポイント低下予想である。特に、飲食・宿泊業の低下が目立つ。しかし、前回調査見通しとの比較では全体で12.7ポイント改善しているが、卸・小売業と飲食・宿泊業では、改善が見られない。

<当地区コメント> 当地域の販売単価は、回答の無かった製造業を除き全ての業種でマイナス回答されており、市内全体の数値よりも15ポイント以上減少を示している。特に卸・小売業とサービス業のマイナスポイントが高く、卸・小売業においては仕入単価の上昇に合わせて販売単価減少となり、厳しい経営状況がうかがえる。今後の見通しにおいては全業種で△26.8ポイントと回答されているが、前回調査時よりも11.7ポイント改善されている。

5. 資金繰りについて

・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

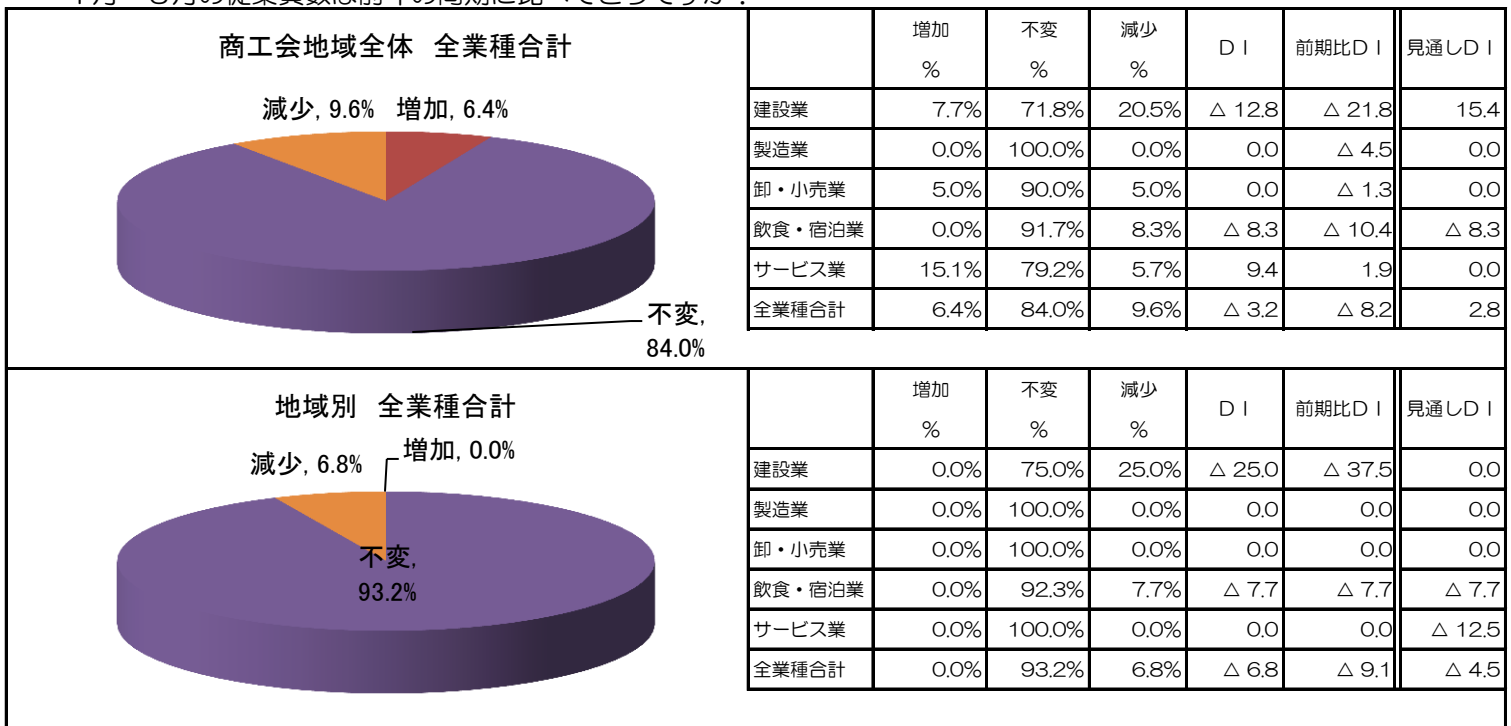
商工会地域全体 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
							
地域別 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
							
建設業		19.2%	60.3%	20.5%	△ 1.3	△ 12.8	△ 11.5
製造業		0.0%	77.3%	22.7%	△ 22.7	△ 27.3	△ 13.6
卸・小売業		5.0%	62.5%	32.5%	△ 27.5	△ 33.8	△ 27.5
飲食・宿泊業		4.2%	68.8%	27.1%	△ 22.9	△ 33.3	△ 33.3
サービス業		9.4%	79.2%	11.3%	△ 1.9	△ 9.4	△ 7.5
全業種合計		9.3%	67.3%	23.5%	△ 14.2	△ 22.8	△ 19.2
建設業		25.0%	25.0%	50.0%	△ 25.0	0.0	△ 25.0
製造業		0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
卸・小売業		7.1%	64.3%	28.6%	△ 21.4	△ 28.6	△ 28.6
飲食・宿泊業		0.0%	76.9%	23.1%	△ 23.1	△ 30.8	△ 30.8
サービス業		0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 25.0	△ 37.5
全業種合計		6.8%	63.6%	29.5%	△ 22.7	△ 22.7	△ 29.5

<全体コメント> 資金繰りは、前年同期と比べて全業種△14.2ポイント悪化。前期比でも、全業種で△22.8ポイント悪化している。今後の見通しでも、全業種△19.2ポイント悪化を予想している。又、前回調査見通しとの比較では、14.9ポイント改善しているが、卸・小売業と飲食・宿泊業は、悪化傾向であり、注視する必要がある。

<当地区コメント> 当地域の資金繰りは、全業種の前期比で△22.7ポイント悪化となった。不変との回答が63.6%と多いものの、製造業、飲食・宿泊業、サービス業では好転と回答した事業所が無い結果となっている。今後の見通しでもマイナス予想している事業所が多く、△29.5ポイント悪化と予想されている。

6. 従業員数について

・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

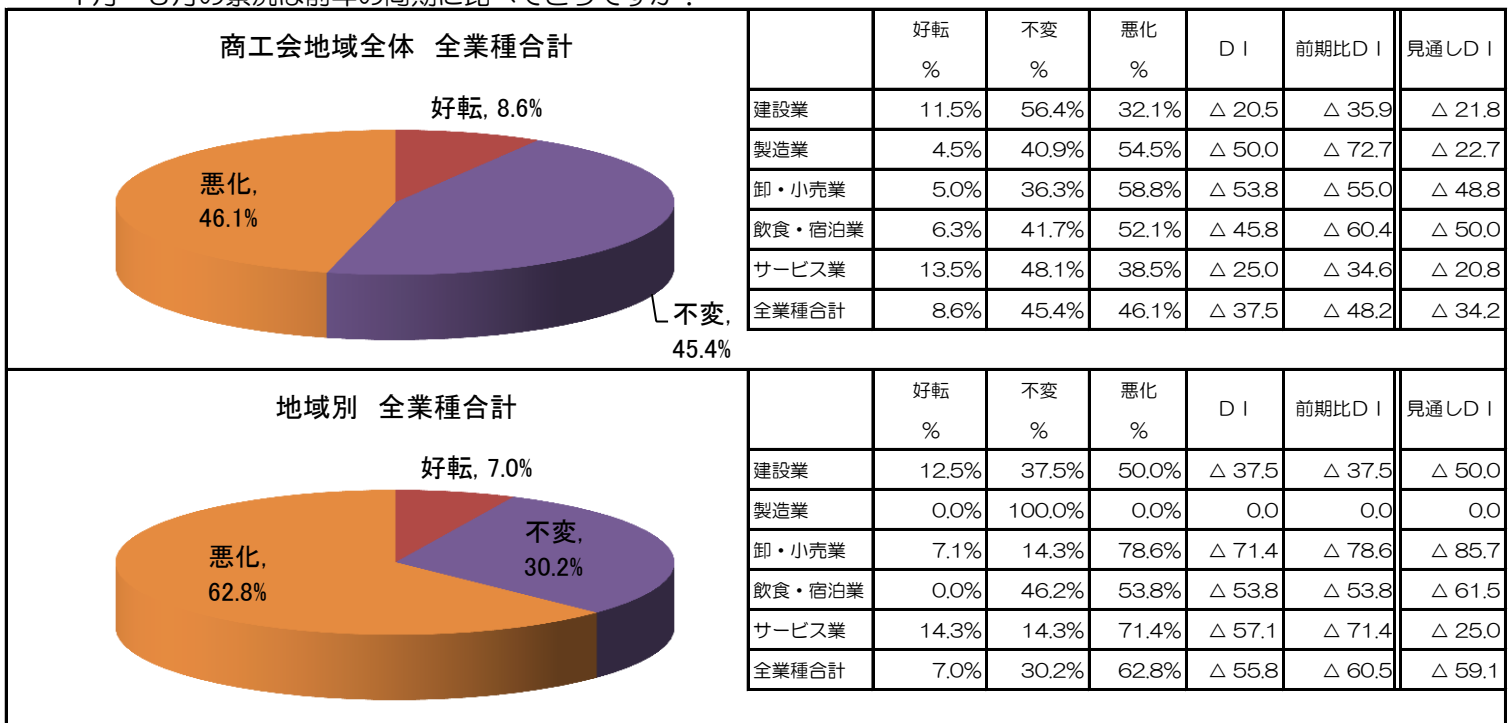


<全域コメント> 従業員数は、前年同期と比べて建設業と飲食・宿泊業で減少、サービス業は増加。前期比では、サービス業以外は減少し、今後の見通しでは、建設業が増加、飲食・宿泊業が減少予想となっている。又、前回調査見通しとの比較では、全業種で11.5ポイント改善している。

<当地区コメント> 当地域の従業員数は、不変回答が93.2%となっており大きな変動はないものの、前年同期比で△6.8ポイント悪化の結果となった。今後の見通しでは、サービス業で△12.5ポイントとの結果が出ているが、前回調査時もサービス業での見通しがマイナスポイントが高かった事を踏まえて見てみると、前期比0ポイントとの結果が出ており減少は無く、見通しDI値も10ポイント改善されている。

7. 景況判断について

・1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

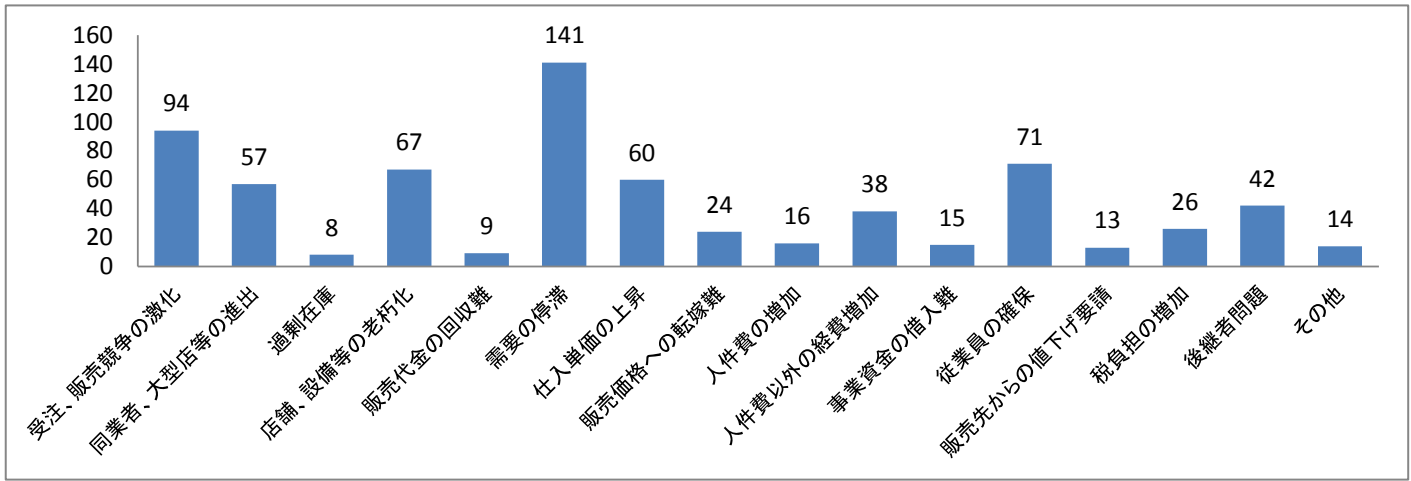


<全域コメント> 景況判断は、前年同期と比べて全業種△37.5ポイント悪化。製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業の悪化が目立つ。前期比では、全業種△48.2ポイント悪化。製造業と飲食・宿泊業の悪化が目立つ。今後の見通しでも、全業種△34.2ポイント悪化予想。前回調査見通しとの比較では、22.1ポイント改善予想している。

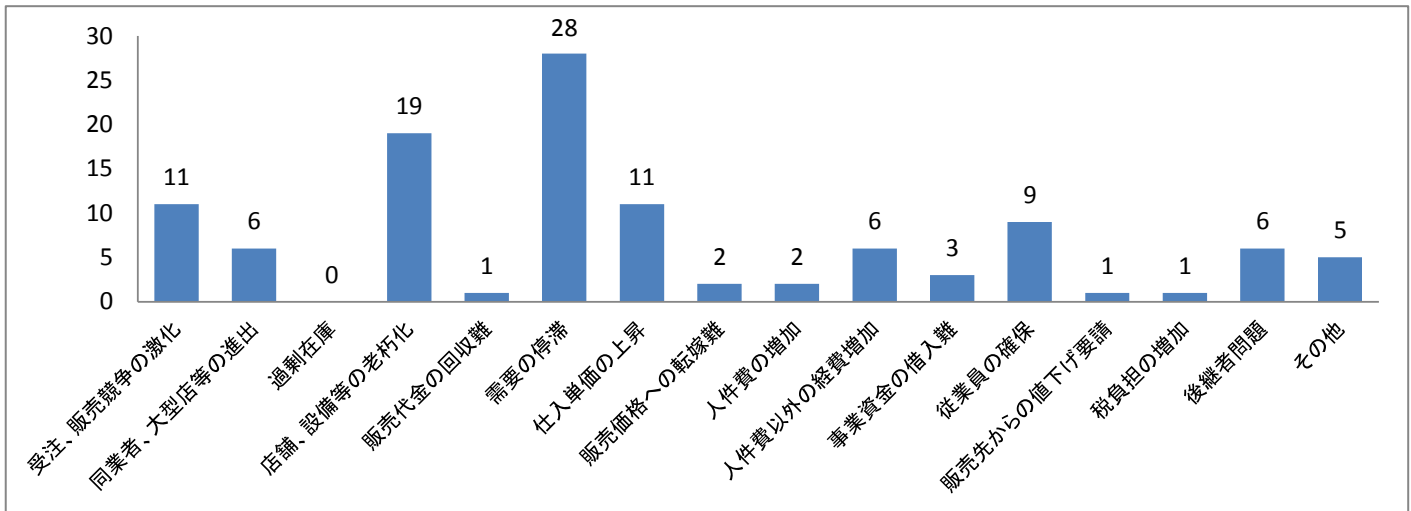
<当地区コメント> 当地域の景況判断は、全業種の前年同期比が△55.8ポイントとなっており、市内全域よりも18.3ポイント悪化との結果である。特に卸・小売業では△71.4ポイントとの回答があり、今後の見通しも△85.7ポイントと非常に高いマイナス数値が出ている。飲食・宿泊業の見通しも△61.5ポイントとマイナスポイントが高く、悪化予想している事業所が多い結果となった。

8. 経営上の問題点（上位3つ）

商工会地域全体 全業種合計



地域別 全業種合計



＜全域コメント＞ 経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「従業員の確保」4位「店舗、設備等の老朽化」となり、前回調査との比較で、2位と3位が入れ替わった。又、仕入単価の上昇を問題点に上げた方が大きく増えた。

＜当地区コメント＞ 当地域の経営上の問題点では、年間を通じ「需要の停滞」が1位、「店舗・設備の老朽化」が2位となった。「受注・販売競争の激化」「仕入単価の上昇」が同数で3位となっている。市内全体での結果にもあるが、従業員の確保も問題点として多くとらえられている。

9. 後継者の状況について

- 1月～3月時点での後継者の状況は

商工会地域全体 全業種合計

	有り	無し
建設業	41.6%	58.4%
製造業	59.1%	40.9%
卸・小売業	28.8%	71.3%
飲食・宿泊業	43.8%	56.3%
サービス業	42.6%	57.4%
全業種合計	39.9%	60.1%

地域別 全業種合計

	有り	無し
建設業	37.5%	62.5%
製造業	100.0%	0.0%
卸・小売業	14.3%	85.7%
飲食・宿泊業	53.8%	46.2%
サービス業	22.2%	77.8%
全業種合計	33.3%	66.7%

＜全域コメント＞

後継者の状況は、全業種合計60.1%の事業所で後継者がいない状況である。特に、卸・小売業では、71.3%の事業所で後継者がいない。

＜当地区コメント＞

当地域の後継者の状況は、今回調査では66.7%（3分の2）の事業所が後継者無しと回答された。卸・小売業では85.7%が後継者がいない状況であり、市内全体よりも高い比率となっている。

10. 地域全体の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

<全域コメント>

【建設業】

今期の景況を前年同期で比較すると、材料単価の上昇により工事原価が増加し、受注単価の減額と受注工事の減少により採算が悪化している。前期との比較では、材料費の上昇による工事原価の上昇と当地域の特性である冬場工事の減少により採算が悪化し、資金繰りも容易でない状況である。今後の見通しでも、例年通り工事発注が鈍く、短期雇用者の雇入れ及び材料費の上昇により支出が増加していくことから楽観視していない。又、経営上の問題点として、1位「受注、販売競争の激化」、2位「需要の停滞」となっており、この項目からも厳しい見方をしている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は24.4ポイント改善予想をしている。

【製造業】

今期の景況を前年同期で比較すると、材料単価の上昇により製造原価が増加し、受注単価の減額と売上減少により採算が悪化し、資金繰りにも影響を及ぼしている。前期との比較でも、この悪化傾向は深刻になっているが、今後の見通しでは、材料単価の上昇はあるものの、売上回復を見込んでおり、明るい兆しが見える。経営上の問題点として、前回「需要の停滞」が群を抜いていたが、今回2位「受注、販売競争の激化」、3位「従業員の確保」とほとんど差のない回答数となっていることから、明るい兆しが見えている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は34.6ポイント改善予想をしている。

【卸・小売業】

今期の景況を前年同期で比較すると、仕入単価の上昇と販売単価及び売上の減少により採算が悪化した。前期との比較でも、この傾向に歯止めが掛らず更に悪化し、今後の見通しでも、更に厳しい見方をしている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は21.5ポイント改善予想である。又、経営上の問題点のトップ3は、前回と同様に「需要の停滞」「受注、販売競争の激化」「同業者、大型店等の進出」と外部要因となっている。

【飲食・宿泊業】

今期の景況を前年同期で比較すると、仕入単価の上昇と販売単価及び売上の減少により採算が悪化した。前期との比較でも、この傾向に歯止めが掛らず更に悪化し、今後の見通しでも、更に厳しい見方をしている。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は21.8ポイント改善予想である。又、経営上の問題点は、1位「店舗、設備等の老朽化」となり、内部要因が1位となった他、内部要因の「従業員の確保」も4位となっている。

【サービス業】

今期の景況を前年同期で比較すると、従業員数を増やしたものの売上が減少し採算が悪化した。前期との比較でも、この傾向は変わらず、今後の見通しでは、売上増加を予想し、採算も回復していくと予想しているが、経営上の問題点として「需要の停滞」の回答数が群を抜いており、回復予想は希望的と思われる面もある。尚、前回調査見通しとの比較では、売上は13.3ポイント改善予想である。

以上の業種別景況概要を踏まえると、前年同期で比較すると売上原価の上昇と売上単価の減額並びに売上減少により採算が悪化していると言える。前期(秋)と比べても悪化傾向にあり、今後の見通しでは、製造業とサービス業に明るい兆しが見えるものの、全体としては厳しい状況に変わりないと思われるが、前回調査見通しとの比較では、売上は29ポイント改善予想をしており、若干の期待感が窺える。

<当地区コメント>

【建設業】

当地域の今期の建設業は、前年同期比の売上及び採算のDI値は共に0ポイントであったが、昨年の小雪を基準にするとはあまり良くない状況と受け取れる。見通しDIもマイナスポイントが先行しているが、前期の見通しよりも50ポイント改善されている。

経営上の問題では、「需要の停滞」が1位となっており、前期まで1位であった「従業員の確保」を超え、受注量の減少がうかがえる結果となった。

【製造業】

当地域の今期製造業の調査結果は、1事業所のみでの回答であることからコメントは避けたいが、大きな変動がないものと思われる。

市内全域の結果を参考としていただきたい。

【卸・小売業】

当地域の小売業の状況は、前回調査時と同様に従業員数を除き全ての項目でマイナスポイントが出ている。今後の見通しもマイナス理が高く、悪化を予想している事業所が多い。経営上の問題では「需要の停滞」が1位となっており、プレミアム商品券事業を実施しているものの、卸・小売業においては調査時期の事業効果はあまりなかったように思われる。

今後も経営内容の変化に注視すべき業種である。

【飲食・宿泊業】

当地域の飲食宿泊業の状況は、前年同期比でマイナスポイントが出ているものの市内全体よりも低い数値となっている。また、今後の見通しDIも前回調査時点より数値に改善が見られ、春からの観光入込客増を予想している事業所も多い。

経営上の問題では、前回調査同様に「店舗、設備等の老朽化」が1位であったが、「需要の停滞」「仕入価格の上昇」との回答が次いでおり仕入原価の高騰も悪化回答の要因と思われる。

【サービス業】

当地域のサービス業の状況は、前年同期比でマイナスポイントが高く、前回調査時から改善が見られない結果となっている。ただし、今後の見通しDI値は前回調査時よりも大幅に改善されており、良好な結果が出ることを期待したい。

経営上の問題では「需要の停滞」と回答した事業所が一番多い。

松之山地域全体の今期の景況総括は、前回調査同様「厳しい状況が続いている」とも言える。市内全体での数値と比較しても、松之山地域の方が悪化数値が依然高く出ており、冬期間の観光客減少時期であることが要因であると思われる。

業種によって今後の見通しDIに改善が見られることが唯一の明るい兆しでもあり、継続した調査を実施し、今後も支援資料として提供したい。